



臨床腫瘍センターだより

第56号 (2013年9月17日発行)

リレー・フォー・ライフ・ジャパン2013福島

～がんと闘う方々の勇気を称え、がん患者や、家族、友人支援者共に交代で夜通し歩き続けることで地域一丸となってがんと闘う連帯感を育み、がんで悩むことのない社会を実現するために募金活動を行う～という目標を掲げ、がん患者支援チャリティイベント「リレー・フォー・ライフ・ジャパン2013福島」が、8月31日(土)9月1日(日)の2日間開催されました。

今年で4回目を迎えたこのイベント。今回はあづま総合体育館メインアリーナでの開催となりました。31日には医大病院の玄関ホールにおいて、入院されている方にもサテライトへの出席をいただきました。参加された方たちはルミナリエを見つめながら、美しいコーラスとスターバックスさんのコーヒー、紅茶のサービスで楽しい一時を過ごされたようです。

メイン会場となったあづま総合体育館では44のチームが参加。2日間での大会出席者は約2,000人となり、参加された方たちはルミナリエに込められた様々な思いを感じながら歩かれているようでした。心配されていた台風の影響もなく、体調不良の方もなく、無事に大会を終了することができました。また、大会におけるセレモニー、歌、ダンス、太鼓、サクソ演奏、バンド演奏、マーチングバンド、寸劇、パネルディスカッションなどでイベントを盛り上げることができました。ボランティアや開催を影で支えてくださった皆様、ご協力本当にありがとうございました。



募金総額は、9月1日大会終了時で約500万円。大会運営費を差し引いた金額を日本対がん協会に寄付させていただきます。寄付金は、がん医療の発展や患者支援、検診の啓発に役立てられます。

大会長をお引き受けくださった竹之下誠一先生、副実行委員長の石田卓先生を始め、ボランティア、施設関係のその皆様、今回も医科大学の皆様には大変お世話になりました。実行委員一同より御礼申し上げます。

実行委員会は、今年のみかえりを行い、今後の活動に繋げていきたいと考えています。これからも皆様のご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。(6階西病棟/看護師長 渋木 登美代)

がんリハビリテーション講演会を開催しました



9月7日(土)福島県がん診療連携協議会地域連携部会主催で、がんリハビリテーション講演会が開催されました。

静岡県立がんセンターリハビリテーション科作業療法士田尻寿子先生による「がんのリハビリテーションの実際～作業療法士の立場から」、広島大学大学院医歯薬保健学研究院教授岡村仁先生による「心のケアとリハビリテーション」のご講演を頂きました。県内から92人の参加がありましたが、前日まで参加への問合せがあり、このテーマへの関心の高さが伺えました。参加職種の内訳は作業療法士、理学療法士、看護師、MSWです。

講演後のパネルディスカッションは参加者への質問に講演者が答える形で進められ、実践で悩んだケースについての質問も出るなど思いが共有されつつ、がんリハビリテーションの重要性が再確認される機会となりました。患者さんがどのような生活を送ってこられたかを伺いながら支援を組み立てていくという視点からは、改めてチーム医療の重要性が感じられました。こうした講演会を通してリハビリ部門との連携を強めていくきっかけとなればと願っています。(臨床腫瘍センター/MSW 池田紀子)

8月外来化学療法センター利用状況

血液内科	20	婦人科	39
消化器内科	12	小児科	12
肝胆膵・移植外科	43	泌尿器外科	16
呼吸器外科	11	皮膚科	18
消化管外科	37	リウマチ・膠原病内科	6
乳腺・内分泌・甲状腺外科	111	その他	8
呼吸器内科	38	合計	371

臨床腫瘍セミナー 開催案内

日時：9月17日(火) 18:00～19:00
 場所：11号館 第2臨床講義室
 演題：胃癌治療の現状と展望
 ～欧米と本邦の比較を交えて～
 講師：福島県立医科大学 臓器再生外科学講座
 助教 佐瀬 善一郎 先生
 ※大学院生は共通必修科目(規定の8)に該当します。